

保護者との連携を通して育む 学びの芽

(健康な心と体)

見てて！
ジャンプ～！！



おもしろそう
やってみたいな

(言葉による伝え合い)

何の葉かな



葉っぱの形や触っ
た感じだと...

(思考力の芽生え)

(豊かな感性と表現)

(自然との関わり・生命尊重)

遊びの中の学びの芽

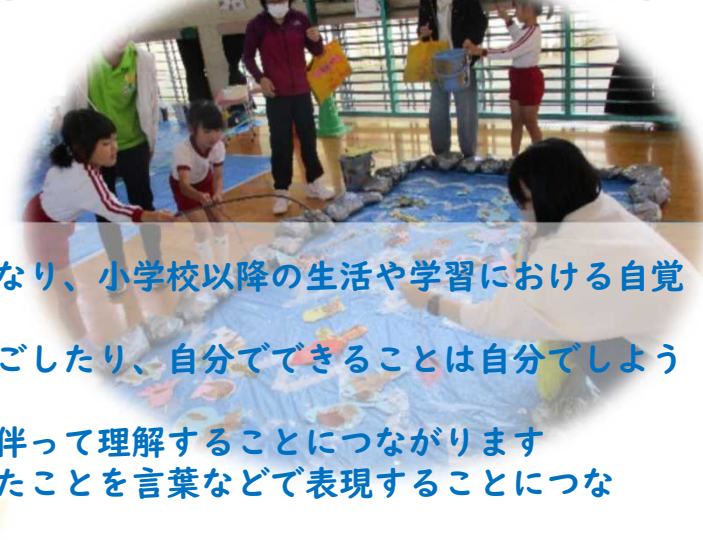
- ・好きな遊びを見つけて、自分からやってみようとする
- ・思い切り体を動かして遊ぶ
- ・自然の美しさや不思議さに触れて感動する。
- ・気付いたことを言葉で表現する。
- ・葉の特徴に気付き、予想する。
- ・相手にわかるように葉の特徴を伝える。
- ・必要感をもって、長さを考えたり、重さを比べたりする。
- ・繰り返し挑戦する。
- ・きまりを守りながら楽しく遊ぶ。

光にあてると
色がきれい



光って
おもしろいね

(数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)



小学校以降の学習へ

夢中になって遊ぶ中で得た経験が、学びの芽生えとなり、小学校以降の生活や学習における自覚的な学びへと繋がっていきます。

- ・小学校の生活において友達と一緒に楽しく過ごしたり、自分でできることは自分でしようと取り組む姿につながります
- ・小学校の学習に関心を持って取り組み、実感を伴って理解することにつながります
- ・小学校での学習において、気付いたことや考えたことを言葉などで表現することにつながります

保育者は、子どもの好奇心や興味・関心を喚起し、子どもと「もの」や「人」、「状況」とのかかわりがより豊かになるように環境を構成し、援助しています。